

町内企業の「中身」を知る

7月上旬、ミネベアミツミの新しい研究棟を見学に行ってきました。特に各種分析・試験をするフロアにはまだ20代と思われる優秀そうなメンバーがそろっていて、今後のミネベアのさらなる可能性を感じる機会ともなりました。1階には小中学生でも興味を引きそうな展示・体験設備が整っていて、「できるだけ多くの町民がここを訪れたことがある、という状況にしたいですね」とお話しして帰ってきました。

産業経済課にお願いし、目下、町内企業回りを進めています。現状、役場には企業情報のストックが乏しいですが、町内産業のあらましを知らずして町としての「次の一手」を打つことは不可能だと考えています。本稿執筆時点でまだ10社程度なのですが、会社の外側からはうかがい知れないその会社の面白さや課題、悩みなどが分かり、有意義な取り組みだと確信したところ。今後も回らせていただくかと存じますので、ご協力をお願いいたします。

町民の皆さんに直接見ていただきたい施設はまだあります。昨年3月開業した高級オーベルジュ「THE HIRAMATSU 軽井沢 御代田」は昨年6月に町民割引の企画があったものの、今のところ食事のみの訪問が不可なので多くのかたが行ったところまでは行っていません(12日に小中学校の給食に柳原シェフのご協力をいただいたところ、「大人も食べてみたい」との声を多数いただきました)。機械製造用機械の大幅需要増で工場を増設しているシチズンマシナリーも、見学すれば「地元こんな企業があったのか」と発見も多いことと思います。

企業共通の課題である人材確保において重要なのは、地元からの就職志望者が増えることだと感じます。町民の皆さんが町内企業の素晴らしさを体感できる機会をどうしたらくれるか、知恵を絞りたいと思います。

Shin ri shi Vol.18
心理師 「“新しい生活様式”に
 付け加えたいもの」
岡本直人
 Oka moto Nao to



町の心理師、岡本です。

ここ最近ではアフターコロナの話題を取り上げていますが、今回も関連したお話。ズバリ、アフターコロナにおける「ストレス対処」について。

コロナの流行により、新しい生活様式や外出の自粛などが盛んに言われるようになりました。個人差はありますが、その影響で日々の楽しみが減った、少なくなったという人も多かったのではないかと思います。買い物や外食、お茶会、飲み会、旅行、ライブなど、特に外出や複数人での行動が好きだった方にはかなり辛いものがあったのではないのでしょうか。

多少コロナが落ち着き、制限が緩和されてきたとはいえ、以前と全く同じ内容・頻度で自らのストレス対処を実行できるかというと、実際のところは少し難しいところがあるかもしれません。そのためアフターコロナにおいては、やや制限の多かった従来の「新しい生活様式」のなかに、「(ちょっと)新しいストレス対処」を組み込んでいくことが大切になってきます。すでに組み込み済みの方もいると思いますが、ストレス対処の内容は個人差があるため、新しい生活様式のようにあまり外から忠告されることはないかもしれませんが、しかし、自分の心身の健康を維持・回復するためにも、これから意識しておく必要があるでしょう。

ストレス対処については、以前に関連したコラム(広報やまゆり360号 令和3年7月号)を書いたので、そちらもご参考ください。えっ? 当の岡本自身はどんな「(ちょっと)新しいストレス対処」をしているかって? そうですね、最近ではキャンピングカーの動画を見ながら眺めたり、深夜のBS1ch(風景や街並みと音だけ)を延々と見たり、お菓子では米菓を好んで食べたりしています。以前よりも少し楽になった感じです。それはさておき、あなたのアフターコロナにおけるストレス対処は、いかに!?

問い合わせ先 教育委員会学校教育係 (32) 9100

Mirrors & Windows

展示テーマ

写真は 自己を映す“鏡” 社会を見る“窓”



©Viviane Sassen. Courtesy of Stevenson, Amsterdam, Cape Town and Johannesburg.



Boy at the Odesa military academy 2015 © Yelena Yamchuk

日本を代表する作家・石内都、森山大道や
 ヴィヴィアン・サッセンに加えて、
 ウクライナ出身のイエレナ・ヤムチュクなど、
 国内外から多様な作家が展覧

浅間国際フォトフェスティバル2022 PHOTO MIYOTA 9月4日(日)まで開催中

●会場 MMoP(モップ) ●料金 一部有料(500円) ※野外展示は無料です。
 午前10時～午後5時(屋内展示は最終入場午後4時30分まで)
 ※水曜定休日(8月10日(水)は除く)ただし、野外展示は閲覧可能です。

7月16日(土)よりスタートした「浅間国際フォトフェスティバル2022 PHOTO MIYOTA」。今年、ようやく3年ぶりに開催することができました。この夏、MMoP(モップ)の屋内外に展示された、五感を刺激するアートフォトの世界を楽しんでみませんか。同日にはアートフォトに特化した美術館「御代田写真美術館」も第一期オープンとなりました。写真美術館にはフェスティバルのメインスポンサーであるグッチによる作品が展示されています。週末には写真の楽しさを提案する体験型のイベントや、ワークショップ、マルシェ等随時イベントも開催していますので、ぜひご参加ください。

《マルシェ・イベント情報》

■MIYOTA フラワー&クラフトマルシェ(フォトフェス応援団主催)

7/30(土)、31(日) 午前10時～午後5時終了予定
 手作りの雑貨や生花の販売や、自分で作品を作るワークショップなど10店舗以上がアートフォトが展示されているMMoPの屋外に出店します。

■ペットを可愛く、料理を美味しく。プロに学ぶSNS写真講座

8/6(土)、7(日) HPより事前予約制
 InstagramやFacebookなど、SNSでいいね! がもらえる写真を撮れるようになるためのポイントやテクニックを株式会社アマナのプロカメラマンが教えてくれます。詳細、参加予約は浅間国際フォトフェスティバルHPより。

■御代田「まち歩き&魅力発掘・発信ワークショップ」開催

8/13(土)、14(日) HPより事前予約制
 あなたの知っている御代田の魅力を、情報発信の専門家とともに発掘・発信しませんか。御代田のまち歩き&取材を行い、SNSなどで伝えるように伝える最新の手法を学ぶワークショップです。講師は、全国各地でローカル情報発信講座を展開している合同会社イーストタイムズ。今回、「MMoPローカルティ!スクール」として中部地方初開催します。



イベント情報
 申込はこちらから
 随時更新中